

2015年12月7日

## リオ州の安全情報(2015年54号)

### 邦人被害の発生

リオ州文民警察から、邦人観光客の犯罪被害について以下の通り報告されています。

#### 1 窃盗被害

9月19日午後1時頃、邦人がコパカバーナ海岸の砂浜（アトランティカ通り1800番地付近）で海水浴中、本人の脇（砂浜）に置いておいたカバンがいつのまにかなくなっていることに気づいた。カバンの中にはノートパソコン、カメラ、衣類、パスポート、衣類等が入っていた。

#### 2 窃盗被害

11月2日深夜（22時～翌日4時までの間）、邦人がボタフォゴ地区のホテル内で眠っていたところ、手にしていたスマートフォンを何者かに持ち去られた。（ホテルには個室がなく、多数の国籍の人々が宿泊するオープン・フロアーで寝泊まりしていた由）

#### 3 カードスキミング被害

11月2日、邦人が、口座を保有する銀行から連絡を受け、計2700レアルのカード・スキミング被害に遭ったことが判明した。同人は直ぐにカードのブロックを行ったが、直近にイパネマ地区ビスコンデ・デ・ピラジャ通りに位置する同銀行のATMで同カードを使用しており、同店でスキミング被害に遭った可能性が高いとみている。

#### 4 強盗被害

11月6日午後1時頃、邦人がリオ市セントロ地区のカリオカ通り（Rua da Carioca）のチラデントス広場（Praça Tiradentes）付近を歩いていたところ、黒人男性4人に囲まれ、ナイフで脅された上で持っていたスマートフォンを差し出すよう要求された。邦人が素直にスマートフォンを差し出したところ、4人は足早に立ち去った。邦人に怪我はなかった。

#### 5 窃盗事件

11月14日午後2時頃、邦人が、コパカバーナ海岸の砂浜（コパカバーナ・パレスホテル前付近）において、カメラをたすき掛けにして座っていたところ、何者かがたすき部分を切りさき、カメラを持ち去った。（被害の邦人は、いつ盗まれたのか全く気がつかなかった由）。

#### 6 窃盗事件

11月14日午後6時50分頃、邦人がセントロ地区チリ通り（Avenida Republica do Chile）のカテドラル前付近で、スマートフォンで写真撮影をしようとしたところ、自転車に乗った14歳～16歳位の黒人の少年が現れ、邦人のスマートフォンを奪い去った。邦人に怪我はなかった。

#### 【当館から】

- 依然として、被害品はスマートフォン、カメラ、装飾品類等が目立ちます。
- ブランド物のバッグ、スマートフォン、高級カメラ等人目を惹く物の使用を避けるとともに、所持品から決して目を離さないよう注意してください。
- スキミングは被害に遭っても長期間気づかないケースが散見されます。使用明細をこまめにチェックするようにしましょう。